

府中地区医師会駅家訪問看護ステーション指定訪問看護運営規程

(事業の目的)

第1条 一般社団法人府中地区医師会が開設する府中地区医師会駅家訪問看護ステーション（以下「事業所」という。）が行う指定訪問看護事業（以下「事業」という。）は、居宅において要介護状態にある高齢者（以下「利用者」という。）に対し、適切な訪問看護を提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 事業所の実施する訪問看護の従事者は、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を図る。

2 事業の実施に当たっては、居宅介護支援事業者その他地域の医療・保健・福祉サービスを提供するもの、関係市町村との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

(事業所の所在地)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 府中地区医師会駅家訪問看護ステーション
- (2) 所在地 福山市駅家町大字倉光 451 番地 15

(従業者の職種、員数及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する従業者の職種、員数及び職務内容は、次のとおりとする。

- (1) 管理者 1名（常勤）
管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行う。
- (2) 訪問看護師等 4名
看護師 3名（常勤 3名うち管理者と兼務 1名）
職務は訪問看護計画及び報告書を作成し、指定訪問看護を行う。
准看護師 1名（常勤）
職務は指定訪問看護を行う。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日・営業時間 月曜日から金曜日 8:30～17:20
土曜日 8:30～12:25
- (2) 休業日 日曜日、祝日、8/14～8/16 12/29～1/3
- (3) 電話等により、24時間常時連絡が可能な体制とする。

(指定訪問看護の内容)

第6条 指定訪問看護の内容は次のとおりとする。

- (1) 病状・障害の観察
- (2) 清拭・洗髪等による清潔の保持、食事及び排泄等日常生活の世話
- (3) 褥瘡の予防・処置
- (4) リハビリテーション
- (5) 認知症患者の看護

- (6) 療養生活や介護方法の指導者及び助言
- (7) カテーテル等の交換・管理
- (8) その他医師会の指示による医療処置
- (9) ターミナルケア

(利用料その他の費用の額)

第7条 指定訪問看護を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとする。

2 通常の事業の実施地域以外の地域の居宅を訪問して行う指定訪問看護に要した交通費は、その実費を徴収する。ただし、自動車を使用した場合は、通常の事業実施地域を越えた地点から路程1キロメートル当たり25円を実費として徴収する。

3 前項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払いに同意する旨の文書に署名又は記名押印を受けることとする。

(通常の事業の実施地域)

第8条 事業所の通常の事業の実施地域は、福山市駅家町・芦田町・神辺町・加茂町の区域とする。

(緊急時等における対応方法)

第9条 指定訪問看護を実施中に、利用者の病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、管理者に報告し必要に応じ臨時応急処置の手当てを行うとともに、速やかに主治医への連絡を行い指示を求める。

(虐待防止に関する事項)

第10条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 虐待を防止するための従業者に対する研修の実施
- (2) 利用者及びその家族からの苦情処理体制の整備
- (3) 事業所における虐待の防止のための対策を検討する委員会の定期的な開催
- (4) その他虐待防止のために必要な措置

2 事業所は、サービス提供中に、当該事業所従業者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

(その他運営に関する重要事項)

第11条 事業所は、訪問看護師等の質的向上を図るため、次のような研修の機会を設けるものとし、また、業務体制を整備する。

- (1) 採用時研修
- (2) 継続研修
- (3) その他の研修

2 従業者は、職務上知り得た秘密を保持する。

3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持するべき旨を、「個人情報保護に関する誓約書」により確認させる。

4 この規程に定める事項のほか、事業所の運営に関する重要事項は、一般社団法人府中地区医師会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、平成12年4月1日から施行する。

この規程は、平成19年10月1日に改定する。

この規程は、平成20年3月20日に改定する。

この規程は、平成20年12月1日に改定する。

この規程は、平成21年3月1日に改定する。

この規程は、平成21年11月1日に改定する。

この規程は、平成22年1月1日に改定する。

この規程は、平成23年4月1日に改定する。

この規程は、平成24年1月4日に改定する。

この規程は、平成26年4月1日に改定する。

この規程は、平成26年8月18日に改定する。

この規程は、平成27年11月2日に改定する。

この規程は、平成29年4月1日に改定する。

この規程は、令和元年6月17日に改定する。

この規程は、令和4年11月14日に改定する。

この規程は、令和6年3月1日に改定する。

府中地区医師会駅家訪問看護ステーション指定介護予防訪問看護運営規程

(事業の目的)

第1条 一般社団法人府中地区医師会が開設する府中地区医師会駅家訪問看護ステーション(以下「事業所」という。)が行う指定介護予防訪問看護事業(以下「事業」という。)は、居宅において要支援状態にある高齢者(以下「利用者」という。)に対し、適切な介護予防訪問看護を提供することを目的とする。

(運営の方針)

第2条 事業所の実施する介護予防訪問看護の従事者は、利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援するとともに、利用者の心身の機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。

2 事業の実施に当たっては、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他の介護予防サービス事業者、医療・保健・福祉サービスを提供するもの、関係市町との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

(事業所の所在地)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 府中地区医師会駅家訪問看護ステーション
- (2) 所在地 福山市駅家町大字倉光 451 番地 15

(従業者の職種、員数及び職務内容)

第4条 事業所に勤務する従業者の職種、員数及び職務内容は、次のとおりとする。

- (1) 管理者 1名(常勤)
管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行う。
- (2) 訪問看護師等 4名
看護師 3名(常勤 3名うち管理者と兼務 1名)
職務は介護予防訪問看護計画及び報告書を作成し、指定介護予防訪問看護を行う。
准看護師 1名(常勤)
職務は指定介護予防訪問看護を行う。

(営業日及び営業時間)

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日・営業時間 月曜日から金曜日 8:30~17:20
土曜日 8:30~12:25
- (2) 休業日:日曜日、祝日、8/14~8/16 12/29~1/3
- (3) 電話等により、24時間常時連絡が可能な体制とする。

(指定介護予防訪問看護の内容)

第6条 指定介護予防訪問看護の内容は次のとおりとする。

- (1) 病状・障害の観察
- (2) 清拭・洗髪等による清潔の保持、食事及び排泄等日常生活の世話
- (3) 褥瘡の予防・処置
- (4) リハビリテーション
- (5) 認知症患者の看護
- (6) 療養生活や介護方法の指導及び助言

- (7) カテーテル等の交換・管理
- (8) その他医師の指示による医療処置
- (9) ターミナルケア

(利用料その他の費用の額)

第7条 指定介護予防訪問看護を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとする。

2 通常の事業の実施地域以外の地域の居宅を訪問して行う指定介護予防訪問看護に要した交通費は、その実費を徴収する。ただし、自動車を使用した場合は、通常の事業実施地域を越えた地点から路程1キロメートル当たり25円を実費として徴収する。

3 前項の費用の支払いを受ける場合には、利用者又はその家族に対して事前に文書で説明をした上で、支払いに同意する旨の文書に署名又は記名押印を受けることとする。

(通常の事業の実施地域)

第8条 事業所の通常の事業の実施地域は、福山市駅家町・芦田町・神辺町・加茂町の区域とする。

(緊急時等における対応方法)

第9条 指定介護予防訪問看護を実施中に、利用者の病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、管理者に報告し必要に応じ臨時応急処置の手当てを行うとともに、速やかに主治医への連絡を行い指示を求める。

(虐待防止に関する事項)

第10条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- (1) 虐待を防止するための従業者に対する研修の実施
- (2) 利用者及びその家族からの苦情処理体制の整備
- (3) 事業所における虐待の防止のための対策を検討する委員会の定期的な開催
- (4) その他虐待防止のために必要な措置

2 事業所は、サービス提供中に、当該事業所従業者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

(その他運営に関する重要事項)

第11条 事業所は、訪問看護師等の質的向上を図るため、次のような研修の機会を設けるものとし、また、業務体制を整備する。

- (1) 採用時研修
- (2) 継続研修
- (3) その他の研修

2 従業者は、職務上知り得た秘密を保持する。

3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持するべき旨を、「個人情報保護に関する誓約書」により確認させる。

4 この規程に定める事項のほか、事業所の運営に関する重要事項は、一般社団法人府中地区医師会と事業所の管理者との協議に基づいて定めるものとする。

附 則

この規程は、平成18年4月1日から施行する。

この規程は、平成19年10月1日に改定する。

この規程は、平成20年3月20日に改定する。

この規程は、平成20年12月1日に改定する。

この規程は、平成21年3月1日に改定する。

この規程は、平成21年11月1日に改定する。

この規程は、平成22年1月1日に改定する。

この規程は、平成23年4月1日に改定する。

この規程は、平成24年1月4日に改定する。

この規程は、平成26年4月1日に改定する。

この規程は、平成26年8月18日に改定する。

この規程は、平成27年11月2日に改定する。

この規程は、平成29年4月1日に改定する。

この規程は、令和元年6月17日に改定する。

この規程は、令和4年11月14日に改定する。

この規程は、令和6年3月1日に改定する。